

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>・当ホーム開設時に、認知症対応型共同生活介護の運営基準に基づいて内容を検討し、「ほほえみの家・理念」を作りあげている。</p>	<p>・地域密着型サービスに位置づけられたグループホームとして、ご利用者様の地域に根ざした生活支援がより良く築いていけるよう理念の実現に向けた具体的な取り組みを検討していきたい。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>職員の異動・入れ替え等あり、なかなか理念の共有や理解、実践に向け具体化していかないが、ケア会議時など随時、理念に触れ意見・認識の統一を図っている。</p>	<p>・理念の理解と共有の向けて、話し込みを行う。</p> <p>・職員採用時に理念を伝え理解を深める。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>・GH通信「かぼちゃ通信」の発行を計画し、関係する皆様へホームの理解を深めて頂けるよう取り組んでいる。</p>	<p>・地区社協の会合時など、事業所の実践を伝えて行きたい。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>・散歩、買い物などに出かけた折、近隣者との挨拶・声かけなど積極的に行っている。</p>	<p>・災害時協力者となって下さっている近隣在住者への積極的な働きかけ。</p> <p>・自治組合の回覧板を回して頂くことなど考慮中。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>・市内一斉のゴミ0運動への参加</p> <p>・地区社会福祉協議会の会合に職員参加し、地区社協の活動＝特養で開催の地域交流喫茶「めるへん喫茶」には、GH利用者様も参加・利用者様自身の居住地域での地域活動（ふれあいサロン）に参加・地域行事への参加・地域内GH、幼稚園との交流</p>	<p>・地域在住スタッフの協力もあり、地域との交流機会を多く持てるよう、今年度の実績を次年度につなげられるよう今後も計画。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・災害時、生活弱者の避難場所として受け入れ体制を整える ・認知症介護の専門職として、地域住民からの相談援助・アドバイスなど行って行きたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議参加メンバーであるボランティア代表からの提案、又、区長さんからの提案（地区行事：花火大会へのお誘い、公民館活動と絡めたお正月飾り作り）などを受け、実現にむけ努力している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、実施できなかったものについても、実現に向けて努力していきたい。
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様へのよりよいサービス内容検討の為、市担当者・包括支援センター担当者などから情報提供を受け、また相談にのって頂くなど連携に努めている。 	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に積極的に参加、研修報告として職員に随時伝達説明し、理解を深めている。 ・必要なケースにおいては、社協の担当者と支援協議を行っている。 	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に積極的に参加、職員会議にて伝達・理解を図り、実際の場面での対応についてなど、話し合いを持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一層の理解浸透や法令遵守に向けた取り組み。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・特に、契約終了となる場合には、その後の生活支援に不安が残らないよう、十分な説明に加え、支援の有り様を共に考えて行くよう心がけている。		・ご利用者様が重度化されていく中、また長期入院などで医療的な対応が必要になった場合等、現実の問題を捉えながらご家族様との個別面談を実施。ご本人様（ご家族様）の意向を伺う中で、当ホームで対応可能な事、困難な事の状態を説明しつつ、ご本人様にとってより良い支援の方向を共に考えて行けるよう努めて行きたい。
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・ご利用者様のスタッフへの意見から、不満・要望等を察し、改善に向けて話し合いを実行している。		・ご利用者様の意見・要望を更に細やかに汲み上げられる様、機会を作って行きたい。
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・毎月家族会を実施。個別に近況便りを作成、担当者より、近況や健康状況について報告している。		・壁に掲示する写真を通じて、暮らしの様子をより細やかに、お知らせして行きたい。
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・何でも入ってもらえる環境作りに努めているが、直接的な意見としては、なかなか表現して頂けていない。		・家族会の折には、スタッフと合同で話合う時間と、家族同士で話合う時間が取れるよう設定して行く。その中で出される意見を検討・反映することが出来ていけるようにしていきたい。
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・年に1回、運営者が職場懇談会を設けたり、管理者は日常から意見要望等聞くよう努めているが、把握できていない部分も多いのではないか。		・積極的に職員の声に耳を傾けていけるよう定期的に意見を聞く場を設けてきたい。
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・個別ニーズに対応できるよう、状況に応じて出勤時間の調整などを図り、臨機応変な支援を心がけている。		・早急な人員確保。 ・管理者は、緊急時などに柔軟な対応がとれる体制作り

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異動等で職員の入れ替わりがある場合には、事前に可能な限り実習期間を確保し、ご利用者様との安心の関係構築につながるよう配慮している。 	
5.人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内での研修に加えて、職員の経験に応じた研修機会が得られるよう取り組んでいる。 ・資格取得に向けた支援を行っている。 	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GH連絡会や学習会に参加、情報交換に努めている。 ・圏域で取り組んでいるGH相互評価研修会に参加、他GHを見学訪問し、取り組み状況について学び合い、質の向上に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那圏域のGH連絡会にて、管理者のみならず広く職員同士の交流の場が持てる機会を作っていくと話し合い、新年度からの実施に向けて取り組んでいる。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活支援の中でなかなか休憩時間がとれず、心身のストレスがたまりやすい状況であるが、ご利用者様と共にゆったりとお茶を飲むなど工夫して一息つける時間を生み出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の懇親会の開催
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職場懇談会の開催により、個々の職員の勤務内容や実績について把握している。 ・各自が向上心を持って働き続けられるよう必要に応じて研修派遣などに努めている。 	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・入居利用開始前の見学・お試し利用期間を利用したり、従来より受けているサービス事業所との連携・センター方式のシート一部活用によりご本人の想いや願いを受け止めていけるよう努めている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・利用開始前には、見学・面談を重ねながらご家族様の想いを傾聴する機会を多く持てるように努めている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・従来より受けているサービスの担当事業所や担当ケアマネと連携しつつより良い支援について検討していけるよう努めている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・利用開始前にお試し利用（通い）での受け入れを勧め、双方共に馴染めるような時間の確保に努めている。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・郷土料理など利用者様に文化の違いを聞きつつ、教えてもらいながら関係作りの場面が多く持てるよう努力している。 ・生活の中でスタッフの出来ないところを支えてもらったり「お互い様」の関わり合い・関係作りを大切に支援している。</p>	<p>・本人の思い・こだわり等、共感・理解を深めもっと多くの場面で支えあう関係作りが持てるよう、工夫・声かけを行っていきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・ホームの行事への家族参加呼びかけを行い、共に行事を企画・運営し、交流を深めている。 ・折に触れご本人様の生活史などを交えた昔話をお聞きし、共にご本人様の想いを共有しながら日々のケアに役立たせている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・折々の来訪・面会時を捉え、ご家族の話を伺えるように努めている。ご家族様それぞれの長い歴史の中の想いに配慮しつつ、ご本人様との良い時間が築かれていかれるように支援を心がけている。		・家族面会時には、ゆっくりと過ごされるよう場所の配慮や、ご家族ならではの過ごし方ができるような声かけ支援に取り組んでいきたい。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・なじみの美容室に引き続いて通う支援、大切な人への手紙・電話などの通信を取り持つ支援、入居以前の居住地区への訪問・イベント参加支援等つながりの継続に努力している。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・食卓テーブルの配置の考慮、ご利用者様同士の関わり合いが広がる場面設定など、職員がさりげなく調整役を務めている。		・個性を生かし関わり合いが持てる様、一層の取り組みをしていきたい。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・必要に応じて、退所後の生活の場や家族の訪問を行い、ご利用者様・ご家族様の気持ちのフォローアップを行っている。 ・ニーズに合わせてホームの行事にお声かけしたり、良い関係の継続に努めている。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1.一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・ご本人様やご家族様から話を伺う中、思いや希望を汲み取れるよう努めている。 ・センター方式の一部活用等も進め、ご本人様の想いに近づけるよう努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・利用開始時に家族や馴染みの人からの情報を提供していただいたり(センター方式の一部活用)、従前のサービス事業所との担当者との連携をとっている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・ケア会議を通じて各スタッフが把握している情報を持ち寄り、さまざまな視点から現状を見つめ把握できるように努めている。		・センター方式の一部シートの活用により、現状のご様子について関わる全ての人が把握・共有出来るように取組んでいきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・ご本人様のつづやきやご家族様の話・提案を考慮しながら、介護計画を作成している。 ・月2回ケア会議を実施し、職員全体でケアのあり方について検討を行っている。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・変化に応じて見直しを行い、新たな計画を作成している。		
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日々の記録(日課表)や申し送り事項から個別支援経過の記録を行い、ケア会議で情報共有しながら、ケアの検討見直し・実践へとつなげて行けるよう努めている。		・記録の整備に取り組んでいきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・GH内でのサービス提供だけでなく、その方の願いを支えられるよう要望に応じた支援などにとりくんでいる。(妻のお見舞い、身内の葬儀出席)		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>		
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>・状況に応じて認知症専門医への相談・受診を検討していく。</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>・訪問看護ステーションとの連携による、医療連携体制の整備。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>・中期入院となるケースについて、より良い支援の方法のあり方を検討していきたい。</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>・ご家族様の意向をもとに、かかりつけ医・スタッフと話し合いを重ね、終末期ケアの方針を全員で共有できるよう取組んでいきたい。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>・当GHで「できる事・できない事」を明確にしていく中で、重度化や終末期にむけた一人ひとりのケアについて具体的に捉えていきたい。</p> <p>・Drを交えて家族様と一緒に、今後の変化に備えて理解を深め、検討や準備を行って行きたい。</p>
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		<p>・生活日誌記録等の置き場所・記録場所等の取り扱い再考</p> <p>・申し送り場面・状況への配慮など日常の中で常に具体的に確認しあう</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・日々の関わりの中で好み・希望などを伺う場面を持ち、暮らしに活かせるように働きかけ・支援の有り方を模索している。・スタッフの働きかけとご本人様の意向がそわない場合には、時間を空けて再度働きかけたり、ご本人様の思いで納得して暮らせるよう状況を整えるよう工夫している。		・意思表示困難な方へ、より一層のアプローチ・支援の検討
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・ホームとしての大まかな生活の流れはあるが、入浴食事など出来るだけご本人様のペースを大切に出来るよう個別支援に努めている。		・「ご本人様のために・・・」が「介護者のために・・・」すりかわっていないか、自問自答の姿勢を持ちケア会議等での確認を行っていききたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・ひげそり支援や、身だしなみ支援はさりげなく行っている。 ・外出の際など、状況に合わせてお化粧をしたり洋服を選んだりの支援を心がけ、その人らしさを引き立てられるよう努力している。		
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・季節の料理や「今日何が食べたい？」等の声かけによりメニューを決めたり買い物に出かけたり、又出来る事を一緒にお願ひしたりと、場面設定に工夫しつつ支援している。		・「自分の役割」と思って取組んで下さるご利用者様もおられるので、張り合いにつながる継続支援に努めたい。 ・一人ひとりの出来る事についてアセスメントをきめ細やかにを行い、支援につなげて行きたい。
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・お酒、たばこについては、現状の体調・健康面の問題から必ずしも望みどおりの支援を提供できてはいない。(アルコール依存症既往のご利用者様あり、全家族様のご理解・ご協力を得て、現状ではGH内での飲酒を控えて頂いている。個別には外出時に楽しめるよう家族様の協力支援をお願いしている)		・ご利用者様が望みを言える場面作りに努めて行きたい。 ・個別のニーズに合わせた支援をきめ細やかに実施できるよう検討・工夫して行きたい
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・生活の流れや、ご本人様のサイン(動き)に合わせたお誘いにて失禁が軽減するよう支援している。・緩下剤のみに頼らず、食品の検討や腹部マッサージ等で気持ちよく排泄出来るように工夫している。		・一人ひとりの排泄リズムの把握に努める。 ・周囲に、その方の排泄ケアを気付かせない為の配慮に努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>・車椅子利用されているご利用者様に、可能な限り湯船に浸かって温まって頂けるよう介助方法を工夫し努力していく。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		<p>・個々の生活リズムを大切に支援して行きたい。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>・スタッフがご利用者様へ「ありがとう」といえる場面作りを心がける。</p> <p>・職員主導ではなく、ご利用者様の気持ちが動く楽しみ作りを工夫していきたい</p> <p>・家族からの情報をさらに寄せて頂く中、お一人ひとりが生き生きとできる役割作り・楽しみ作りを支援して行きたい。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		<p>・ご本人様の希望や、手元にお金がある安心感に添えるよう、外出時・買い物時等必要に応じた使用ができるように支援を検討していきたい。</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>・一人ひとりの方の出かけたい時に、希望を受け止めて支援につなげたいが、見守りの必要な方、スタッフの介助の必要な方のニーズにどう対応していくのか検討が必要な状況である。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・一人ひとりの希望・願いの聞き取りなど十分ではない現状である。 ・少しずつではあるが聞き取りを行い「お墓まいり」等、ご本人様が大切にしておられる場所への外出支援を試みている。		・馴染みの場所、店などへの外出支援の取り組み ・家族やスタッフと共に外出支援を支えて下さるボランティアの募集
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・家族からの電話を受け、ご本人様と直接話しができる機会をもうけたり、プレゼント等が届いた時等ご本人様からお礼のTELをかけたり、親しい知人に手紙を書く機会を提案したりとつながりが持てる支援を心がけている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・自室にてゆっくりと語らって頂けるようお茶・茶菓子等のもてなし、ホームでの様子をお伝えしつつ間を取り持つなど配慮を心がけている。		・笑顔・言葉使いに配慮しながら、継続支援して行きたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・学習会を持ち職員の学びの機会を確保、正しい理解に向けて取り組んでいる。 ・現状を繰り返しアセスメントし、必要なケアはどうあるべきかを検討、つなぎ服（医療的処置の必要性から初期対応として着用されていたケース）の見直し変更や、服薬に頼らない睡眠を支援を心がけている。		・日々のケアの振返りを行い、自覚されないままに身体拘束が成されていないか確認、理解をする機会を取り入れて行きたい。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・玄関等のチャイム、鈴等の使用にて日中鍵をかけないケアを心がけている。 ・一人外出されるケースでは、さりげない見守りにて支援を行っている。		・ご利用者様の自由な外出をサポートしていく為、地域との連携を積極的に検討、取り組んで行きたい。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・日中ご利用者様の活動を支援しながら、一人はさりげない見守りが実施できるように各スタッフは仕事の優先順位を考慮、スタッフ間の連携を密にする等心がけている。・夜間混乱・転倒のリスクの高いご利用者様には離床センサーを使用させて頂き、早めの対応ができるよう配慮している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>・ご利用者様の状況により目線から外して保管する工夫をしている。(包丁・生ゴミ・洗剤など)</p>	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>・ヒヤリハットに関する報告・記録が十分ではない状況である。</p> <p>・個々の予測される危険を検討、危険回避の対応方法を共有できるよう努めている。</p>	<p>・ヒヤリハットに関する記録・報告が十分に実施できるように検討し、その情報をベースに個々の危険回避対応方法について検討・共有できるように継続して実施して行きたい。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>・救急法の勉強会(ホームにて1回、法人にてAEDの使用法も含めて1回)を行い、急変時の対応ができるよう備えている。</p> <p>・事故発生時の対応はマニュアルを整備している。</p>	<p>・救急救命法については、確実に身に付くよう繰り返しの研修実施を計画して行きたい。</p> <p>・マニュアルについては、周知徹底されるよう整備して行きたい</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・避難訓練の実施。(ホーム単独での訓練に加え、近隣の住民協力者も交えた避難誘導訓練を実施)</p> <p>・降雪期には除雪作業の自主的な協力を頂いている。</p>	<p>・実施する中で、表面化してきた課題への取り組みや近隣との支援体制の整備を行って行きたい。</p>
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>・現状のご本人様のご様子と予測されるリスクの状況、現状のメリット・デメリットをご家族に説明し更に新たなケア方法を取り入れた場合のメリット・デメリットをお伝えしながら、ご家族と支援の方法について共に考えている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		<p>・薬の品名種類毎の作用、副作用についての理解が深められるよう情報資料を整理していきたい。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		<p>・全てのスタッフが重要性を理解し、専門職との連携のもとに継続支援をしていきたい。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>・栄養士による専門的視点からの指導を定期的に行って頂けるよう、法人内での連携を整えていきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・スタッフはもちろん、ご家族様・ボランティアさん等来訪された時には、うがい・手洗い(摺りこみ式消毒)の励行に取り組んでいる。 ・インフルエンザ予防接種の実施(全職員・ご利用者様)・各感染症について情報収集し、随時対応できるよう努めている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・調理用具等の消毒を毎日実施している。 ・ほぼ毎日買い物に出かけ新鮮な食材の購入に努めると共に、日々の調理担当スタッフが賞味期限のチェックを行いながら食材の整理を心がけている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・庭先に季節の花を植えたり、洗濯物がはためいていたり・・・と生活観あふれる空間作りに努めている。 ・表通りからホームへの入り口を門・フェンス等で囲うことはせず、庭先のベランダからでも気楽に立ち寄れるようにスロープを増設、オープンな建物となるよう工夫している。		・表通りからの案内が良くなるよう、手作りの案内板を作って行きたい。 ・玄関上がり口の段差の解消ができ、車椅子でもスムーズに安心して出入りできるよう用具の設置。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・共有空間や玄関等に花や季節の飾り物を飾ったり、植物を育てたり季節感が感じられるよう努めている。 ・「夕方になると早めに障子を立ててほしい」等、ご利用者様の生活習慣に添った環境の整えに配慮している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・お気に入りの場所で過ごせたり、思い思いに過ごせるように椅子の配置・向き等に配慮している。 ・仲間同士の語らいが見られる時には、温かく見守れるよう配慮している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ご本人様が今まで使用されていた家具や大切にされていた物などの持ち込みについて、個別の状況に応じて相談しながら支援している。(ご本人様にとっては「家にあるべき物」もあり、介護者の視点での支援は控えている。)		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・朝の清掃時には一斉に換気を行い、空気の入替えを心がけている。お部屋、トイレ等個室は必要時消臭剤等も併用し換気に努めている。 ・冬季の温度調節は補助暖房の使用により変動が少なくなるよう努めている。 ・夏季は日除けによしずを設置し、室内の温度上昇を抑えられるよう工夫している。		・天候・季節により、窓を開放しての換気には限りがある為、各個室に換気設備増設の必要や、夏季の空調について効果的な器機の増設など検討課題に取り組んでいきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・一人ひとりの動きに合わせたベッド位置の工夫など、安全な暮らしへの配慮を心かけている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・ご利用者様の混乱されている状況の原因を捉えてトイレの入り口に「トイレ」の表示を出したり、昔なじみの「落とし紙」を使用したり・・・と環境を整えている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・天気の良い日は、ベランダにてお茶を飲んだり、又玄関の鉢植えの水やりを自主的に行ったり・・・と生活を楽しめるよう支援している。		・新年度の取り組みとして、芝の植え替え・手入れ・畑地の確保などを行い、ご利用者様の生活の中の楽しみを広げていきたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・グループホーム「ほほえみの家」は、地域とのつながりを大切にした家庭的な雰囲気の良いホームです。
- ・ご利用様が穏やかに過ごせるようご利用者様中心のケアを大切に取り組んでいます。
- ・ご利用者の声を聴き、想いや願いに添った暮らしが日々重ねて行けるよう、小さな気付きから柔軟に実践に移すことに努めています。
- ・又、地域の一員として地区の行事などに積極的に参加できる様 支援しています。
- ・当ホームを訪れて下さる方、皆様に明るくアットホームで良いとお言葉を頂き有難く思っています。